

令和 4 年 10 月 定 例

教 育 委 員 会 会 議 録

令和4年10月 定例飯舘村教育委員会会議録

- 1 招集日時 令和4年10月25日（火）午前10時30分
- 2 招集場所 いいたて希望の里学園
- 3 出席委員
- | | |
|----------------|-------|
| 教育長 | 遠藤 哲 |
| 教育委員（教育長職務代理者） | 高橋 祐一 |
| 教育委員 | 菅野 クニ |
| 教育委員 | 庄司 智美 |
| 教育委員 | 星 弘幸 |
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者
- | | |
|--------|-------|
| 教育課長 | 高橋 政彦 |
| 指導主事 | 蓮 實修一 |
| 生涯学習課長 | 藤井 一彦 |
- 6 開 会 午前10時30分
教育課長 ただいまから令和4年10月の定例教育委員会を始めさせていただきます。
- 7 日程第1 教育長あいさつ
教育長 改めまして、こんにちは。委員の皆様方には本日もご出席ありがとうございます。
まず初めにご報告いたしますが、庄司智美委員におかれましては、9月の議会定例会で承認されましたので、10月1日から、引き続き教育委員会委員として任命されました。庄司委員には今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
併せまして、同じく9月の議会定例会で、こども園の職員へのタブレット端末の配備についても承認されております。コロナ対策、そして働き方改革につながるよう、今後具体的に進めて参ります。
それでは、初めに主な教育関係の行事についてご報告いたします。
9月28日、前回の教育委員会定例会の日でしたが、川俣町の小学校との陸上交歓会が村の陸上競技場で開催されております。希望の里学園の5・6年生が参加して、それぞれの種目に真剣に取り組んで、見事に優勝を果たした児童もおりました。
10月7日ですが、前期課程の児童が二枚橋で、自分たちが植えた稲の稲刈り、そして、はさがけを行いました。収穫の喜びを味わったということです。
こども園関係ですが、10月15日、運動発表会がありました。子供たちの堂々とした演技に、保護者も大いに感動し喜んでいただいております。ホームページにもその様子が載っておりますので、ご覧いただければと思います。

次に生涯学習関係ですが、10月8日、後期課程のオーストラリアでの海外語学研修「希望の里WAKUWAKUEツアー」と5・6年生対象の北海道での「いきいきわくわく学びの旅」の報告会が開かれております。いずれも今年度からの新規事業であり、当初の狙いどおりの成果、そして楽しい思い出を分かりやすく堂々と発表をしていました。

今後の予定ですが、29日土曜日、いいたてっ子発表会・赤蜻祭が行われます。これについては、昨年同様、来賓は限られております。なお、村のお知らせ版を通して村外の子供たちへも参加を呼びかけておりますが、現在のところ申込みはありません。今後は、いいたて学の発表を中心として、ホームページや広報等で村外にも広くお知らせしていきたいと考えております。

また、来月、11月20日の日曜日ですが、ふくしま駅伝が行われます。現在のところ、中学生区間を含めて単独チームで出場できる見込みであると聞いております。大会に向けて、夏から現在も、後期課程の生徒が懸命に練習に励んでおります。

最後ですが、9年生の進路関係です。来月末から3者相談が始まりまして、いよいよ進路指導が具体的に動き出します。昨日、校長会で、自分の将来を見据えてどの高校のどの学校に行きたいのかという本人の意思を大切にするように指示をしたところであります。

本日は、こども園、学校の保育・授業の様子を見ていただきまして、後ほど日程3の諸報告のところで委員の皆様方からそれぞれ感想等をお聞かせ願いたいと思っております。また、その後に、こども園の未満児の給食を食べていただく予定となっておりますので、よろしくお願いいたします。

8 日程第2 会期の決定及び書記の指名

教育長 日程第2、会期の決定及び書記の指名であります。会期については本日1日間、書記は高橋政彦教育課長を指名いたします。ご異議ございませんでしょうか。

全 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。

9 日程第3 諸報告について

教育長 日程第3、諸報告についてですが、まず、事務局より1、2番をお願いします。

教育課長 (資料に基づき説明)

教育長 それでは、今、事務局より諸報告の1番、2番、さらに相馬支会の研修会についてありましたが、まず1番の日程、そして2番のこども園募集について、委員の皆様方から何かございますか。お願いします。

星委員 園児募集の入園対象の5歳児の範囲で生年月日が平成30年4月2日までではなく1日ではないでしょうか。

教育課長 修正し配布いたします。

教育長 その他ございますか。

それでは、続いて相馬支会の研修会、新地町の尚英中で毎年ICT活用の発表会に交ざるといことでしょうか。今のところ参加できるという方おりますか。

星委員 1日まで待っていただいて、出欠の連絡をいたします。

菅野委員 私は既に会議が入っているので駄目です。

高橋委員 大丈夫です、参加します。

庄司委員 高校の面談が入っていて、欠席です。

教育課長 11月1日に星委員から報告をいただいて報告します。

教育長 それでは、本日の視察の感想等をお聞かせ願えれば、学園に伝えたいと思っております。職務代理者からお願いします。

高橋委員 今日は、いい天候で希望の里学園の授業を視察ということで見させていただきました。特に気づいたところ、1学年の国語では授業に対して落ち着きのない子がいるということで、一般の普通の子に対して配慮した形、落ち着きのない子も分かれて勉強するというところは両方にいいことだと思いますので、特別な配慮をしているところがすばらしかったなと思ったところがございます。

やはり生徒が少ない人数なので、先生が一人一人、親身になるといいますか、丁寧に授業ができるのではないかなというのが、一番のこの希望の里学園のメリットではないかなと思ったところがございます。

あと、全般的なことですが、校舎内きれいに整理整頓されていたなという感じで受け止めました。本当に毎日の清掃というのがきちんとされているなと感じたところであります。以上です。

教育長 落ち着きがないというのがありますが、いわゆる習熟度別というか別な場所で授業を受けたほうが、より実になるのではないかとということで、あくまでも親の承諾を得て、あのような形にしているということです。

高橋委員 特別な配慮でいいと思ったので。

教育長 そうですね。実際、なかなか追いつけない子供もいるわけですが、適切に指導できているようです。ありがとうございます。

菅野委員 幾つかありますが、まず、こども園のほうでは、外遊びをしている子供たちの先生がそばにいたところもありましたが、ブランコのところにはいなかったかなと。どこかで先生は見ているのかなとか思いながらも、ある意味で危険な遊具だとも思います。そこは気になったところでした。

次に、寄り添った授業をされているなというところで、やはり今高橋委員が言われたようなところがあって、習熟度別に授業されているところも見させていただいて、よかったかと思うし、やはりいい天候で学とかですね、地元の飯館のことを知るといって、一つのことを深めていけば、もっと過去のことをちゃんと分かって、逆に言えばこれは大人のほうがもっと地域を見てみようよと、地元、飯館村を学んでみようよというふうに、あのままそっくり大人に授業したいなとも思いました。

多目的ホールでは、相談してやってくださいと授業内容に書いてありますが、何か2つのグループに分かれながら、校長先生が、どの子も司会をやりをしながらまとめていくその役割を担ってやるようにしていますという話もされていました。やはり、いつも自分は黙って聞いている人ではなくて、誰々さん、司会やって、大人の世界ではよくありますが、それがどれも体験しながらやれるというか、やっていける子供たちに何か成長させていただけるかなと思ってありがたいと思

ました。ありがとうございました。

教育長 最後におっしゃったように、やはりどの子供も発言もできるし、そういう役割を持って司会等もできるというのは本当に小規模のいいところですし、正直なかなか経験できないことを経験できているというのは、そこは本当にすばらしいと私も思いました。ありがとうございました。

星委員 最初、学校に来てみて、歩いていく途中、校舎とか写真撮りながら来ましたが、本当にきれいな学校だなと思って、校舎内とか見ても、多分、前の村長の影響も大きいかと思いますが、いろんなアート作品というか、感性を磨かないとちょっと理解できない作品もあったりして、それも、そのとき分からなくても、いずれ分かるときが来ると思うと、本当に学校自体のブランドではないですけども、美意識というか芸術性というか、そういうのってすごく高いのではないかなと、その発表しているものとか掲示してあるもの、それから授業の内容とか見ても、本当に何か、学校という自分の時代の多人数の生徒と比べて、本当に開かれたすごく明るくて可能性を感じる場所だなと印象に残りました。今後、それをどのように維持していくかというのはなかなか難しいとは思いますが、それがブランドとなって残っていけば、本当にここに来るとすごく感性が磨かれるというような場所になるのかなと感じました。

また、個別なところというか、少し自分の話になってしまいますが、学校が避難してからこっちに移動するという話があったときに、正直、必要ないと自分は思っていました。ただ、実際こうやって学校を整えて造ると、そこにやはり人が集まってきて、自分の子供も上の子のときは結果的に併設校でしたけれども、下の学年は2人から始まって今7人のクラスになっているので、やはりその環境があると、そこに人が集まって、どんどんよくなっていくというのも、インフラというか環境づくりって大事だなと感じました。大きなディスプレイ、そんなに要らないと思っていましたが、実際導入して使っているのを見ると、導入する時点では想像できない可能性というのが、実際あることによってどんどんつくられていくという意味で、役割としては、環境づくりというのが教育委員会として周りの大人側の仕事であって、その中でどういうふうに生かしていくかというのが子供たちだったり先生だったり生徒という、そういう環境づくりというのが大事だなと非常に感じました。

個別で少し気になったところは、放射線除去装置、震災のときに多分何台か支援してもらって置いてある大きな鉄の箱ですが、2012年と書いてあったので10年ぐらい経過してしまっていて、当時と今は環境も違って、線量も大分低くなっているんで、いつまでも置いておく必要があるのかなと感じました。役割が終わっているのであれば、撤去するなり別のところで使うなり、もしくは何か改良してよくするなりというのも考えたほうがいいのではないかと思います。

もう1点、6年生の授業のときに、1人、K君という席があったのですが、それいないなと思って見たら、後ろのほうにおりまして、何していたのかというと、タブレットのバッテリーがなくて、そこで充電しながらやっているという状況だったので、充電忘れるのはよくないですけども、モバイルバッテリーが何台かあれば机の上で一緒にできるのかなと思ったので、その辺、必要性があるのであ

ればモバイルバッテリーでタブレット充電問題、少し解決できるかなと思いました。

長くなりましたが、以上です。

教育長 ありがとうございました。小学校、環境によって人が集まるということでしたが、今年度についても、現在そういう希望の方もいて、もしかすると2桁ぐらい、1年間に増えるようになるかもしれませんが、中にはやはり村の方からこの希望の里学園のよさを聞いたり、あるいは見に来て実際感じたりということで、皆さん今おっしゃったように、非常にきれいな学校というだけではなく、人的な環境も含めて、魅力的な学校づくりに努めていきたいというふうに改めて思いました。ありがとうございました。

庄司委員 こども園のホームページを見ていて、先生たちが月一で交代でお薦めの本とかえを出しているのを見て、園長先生も言っていましたけれども、5歳までに親の読み聞かせが十分あると子供たちが育つと言っていたので、自分がその当時やっていなかったなと思ったりして、忙しいこともあったりしたからかなと思って、今のお母さんたちは頑張っているなと思って見てきて、先生たちの毎月の子供たちを反映させている掲示物が多くあったのはすばらしいなと思って見てきました。

それと、学園のほうは、下の学年の子供たちが結構いたので、そして名前を見ると、何か聞き慣れない名前の子たちが結構いたので、飯舘のこの学校のことを分かってほかのところから来てくれているのかなとか、別な学校に行っていたのに、戻って入学してくれているという子供たちもいたので、それは村にとってよかったなと思って見てきました。以上です。

教育長 ありがとうございます。こども園では、今年度、読書という読み聞かせに力を入れておりまして、確かに先生方のお薦めの本もあったり、交流センターから絵本を持ってきて、それを保護者に貸し出していたりします。それも非常に有効で、どんどん本好きな子が増えてくると思っています。本を小さい頃からよく読むと、勉強が好きな子には育つということは間違いのないことで、ぜひ進めていってほしいと私も思っております。ありがとうございました。

全体通して何か追加なり質問なりあれば、よろしいですか。

それでは、これから給食を食べていただいて、もし感想等あれば、これ直接お聞かせ願えればと思っております。

それでは、日程第3、諸報告については以上です。ここまで承認ということで、ご異議ありませんでしょうか。

全員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。

10 日程第4 その他

教育長 それでは、日程第4に移りますが、その他の件で、初めに生涯学習課から、男女共同参画計画についてのお話がありますので、時間もところですが、10分ぐらいで簡単に説明、ポイントを絞って説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

生涯学習課長 （資料に基づき説明）

教育長 それでは、ただいま説明ありました村の男女共同参画計画ということで、10名の委員が7回策定委員会を経て策定したものをご覧いただいています、案ですので、もし皆様方から質問、ご意見等あればお聞かせ願いたいと思いますが、何かございますか。お願いします。

菅野委員 この計画の期間が令和5年から令和14年までの10年間というところで、例えば10年後の令和15年、それで、必要に応じて見直しを行うということですが、この見直しをするために、例えば5年目とか8年目とで、見直しをするための努力目標みたいな数値化できるものは検討されたのでしょうか。何もなく、感覚的に見直しをするということになるのか、何か見直しをする材料が必要なのかなと思いますが。それで、10年目には、例えば、今の問4の「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というそのところの数値が、そう思わないという数字が多くなるとか、ジェンダーという言葉をもっと分かる人とか、ポジティブアクションの数字が今低めですけれども、それがもう少し分かる人が増えるとか、そういうところのご検討あったのかなという点です。

教育長 ありがとうございます。藤井課長。

生涯学習課長 この分野は、どんどん変わってきていますので、どうなったら計画を見直しか難しいところがあります。計画が大分古くなってきたということになれば見直しを行うということで、ご理解いただければと思います。委員の中では10年計画でいいだろうということで了解をいただいたところでございます。

あと、数値目標については、例えば女性の議員数を増やすとか、そんな話も出ましたが、そういう項目を作ったとしても、なかなか難しいのが今の村の現状だと思います。また、現在、村の様々なことがまだ変化しているものですから、具体的に数値目標をつくること自体が今難しいなというようなところもありまして、今回は数値目標を載せないでおこうということになりました。ただ、今回アンケート調査は行いましたから、今後できれば定点観測みたいなものも必要だと思いますので、そういったところはやっていければと思います。今回は計画がない期間が長く空白状態のようになっていましたので、まず計画を策定して、そこからスタートしていこうということでございます。ご意見ありがとうございます。

教育長 前回が平成15年ということですね。それとはまた全然違ったものになるのでしょうか、貴重な意見ありがとうございます。

その他ございますか。お願いします。

星委員 前段で学校内を見て来たときの話で、虫なんかを見たりしたときに男性側と女性側の感覚というか、遊んでいてけがをすると、どちらかというと男性側はそれも経験というか、そうやって覚える的な感覚があって、女性側のほうはどちらかというとけがさせたくない、けがして危ないという感覚が、先ほどのブランコを見て私は別に何とも思わなかったですけれども、やはり女性の視点から見ると危険があると感じるところで、男女の違いというのはあるのかなというのを感じたのが前提です。5ページのアンケートのところで、性別を教えてくださいという問いで男性と女性で分かれています、その後の問4から後ろのところの項目は、男女合わせた結果の集計となっています。そうすると、この数字自体が男性側と女性側で差があった場合だと、まずその差の認識のところを明らかにしないと、例

えば半分の人は男女平等に思っているというふうに思っている、実際は、女性は全員思っていないで、男性は全員思っているという結果かもしれないので、アンケートのまとめ方として、男女でせつかく分けたのであれば、男女の認識の違い、違って当然だと思うので、男と女として、そこからのスタートという見方ができたほうがいい。まず違いがあるというところを認識して、その中でお互いの役割とかと思うので、まとめ方としてそういう視点があってもいいのかなと。特に家事をやっていると、男性はごみ出しで、手伝ってと言われてごみを捨ててくれるだけでごみ出しをしたと。ごみを集めるところが大変だと、そういうところの認識の違いもあるので、これからスタートするのであれば、この男女の認識の違いというところはもう少し見えるようにしてもいいのかなというふうに思ったのが1点。

もう1点は、言葉がよく浮かばないのですが、16ページの「安心して子どもを産み育てられる環境づくり」というところですけども、「産み育てる」の「産み」というのはどうしても女性しかできない部分です。「育てる」は一緒にできますけれども、言葉自体が一般的なのかもしれないですけども、この「産み育てる」という言葉を使うこと自体が何か違うのかなと。何がいいのか、子供をつくりなのか、子供を授かりなのか、子供を望みなのか、そこは提案はできませんが、産み育てるという言葉自体が適切なのかなというふうに、産むことと育てること、その産むことに関してだけのサポートはもちろんとして、その育てるということもあると思うので、産むということに、出産に向けての男性側の協力というのを含んでいるのかどうか分かりませんが、産み育てるという言葉が何かもう少しいい言葉がないのかなと感じました。

教育長 ありがとうございます。課長から何かありますか。

生涯学習課長 アンケート調査の男女のところですが、これは今、男女というのを聞くこと自体が難しいことになってきています。自認する性ということですね。14ページにLGBTQの解説がありますが、この最後のQというのは、自分の性について分からない人を表しています。ですから、男女を問うこと自体どうなのかという議論もありました。そんな経緯もあり、男女別の集計をしておりませんでした。これについては今後の課題とさせていただければと思います。

あと、「産み育てられる」という表記ですが、これは千葉先生とか県の担当者含めて見てはいただいているので、多分、用語としてはこういう使い方で間違っていないんだろうとは思いますが、改めて確認をさせていただきたいと思います。

星委員 最初の男女共同という言葉自体も、産み育てるという言葉自体も、それこそ20年ぐらい前の、10年以上前の感覚なのかなという感触としてはあったので。

生涯学習課長 了解しました。

教育長 その男女の差というのは非常に興味があります。確におっしゃるとおり。

生涯学習課長 今回つくっているときに、実は学校の先生が一番この辺についての理解が進んでいました。学校なんかは、そういった意味では、すごくある意味ではいろいろ取り組んだり悩んだり、やっぱりしているんだなというふうに思っていますね。だから、チョコちゃんに叱られちゃうなと言いながら僕なんか事務局やっていたん

ですけれども、本当にボーっと生きてちゃいけないんだなというぐらいにどんどん進んできているんだなと思っていますので、そんなことで、取りあえずのスタート点という、スタートラインをつくったということでご理解いただければと思います。

教育長 いずれにしても貴重な意見だと思います。皆さんにもお伝え願えればと思います。

それでは、時間があるので最後になりますが、まず次回の開催日時ですが、次回は11月24日の3時。これは第2会議室ということで。

次々回、12月ですが、先ほど課長と日程を見まして、候補2つありまして、21日の水曜日と23日の金曜日がありますが、第1候補として21日の水曜日の午後3時ということで不都合な方いらっしゃいますか。（「大丈夫です」の声あり）

では、21日水曜日の午後3時から行って、場所はこれから取りますが、村役場ということにしたいと思います。

それでは、日程全て終わりましたので、課長のほうにお返しして、閉会をお願いします。

10 閉 会

教育課長 それでは、皆様、慎重審議ありがとうございました。これをもちまして、令和4年10月の定例教育委員会を閉会します。

午前11時30分 閉会

上記のとおり相違ありません。

教育長

遠藤 哲

教育委員（教育長職務代理者）

高橋 祐一

教育委員

曾野 仁

教育委員

星 弘幸

教育委員

庄司 智美

書記：教育課長 高橋 政彦